

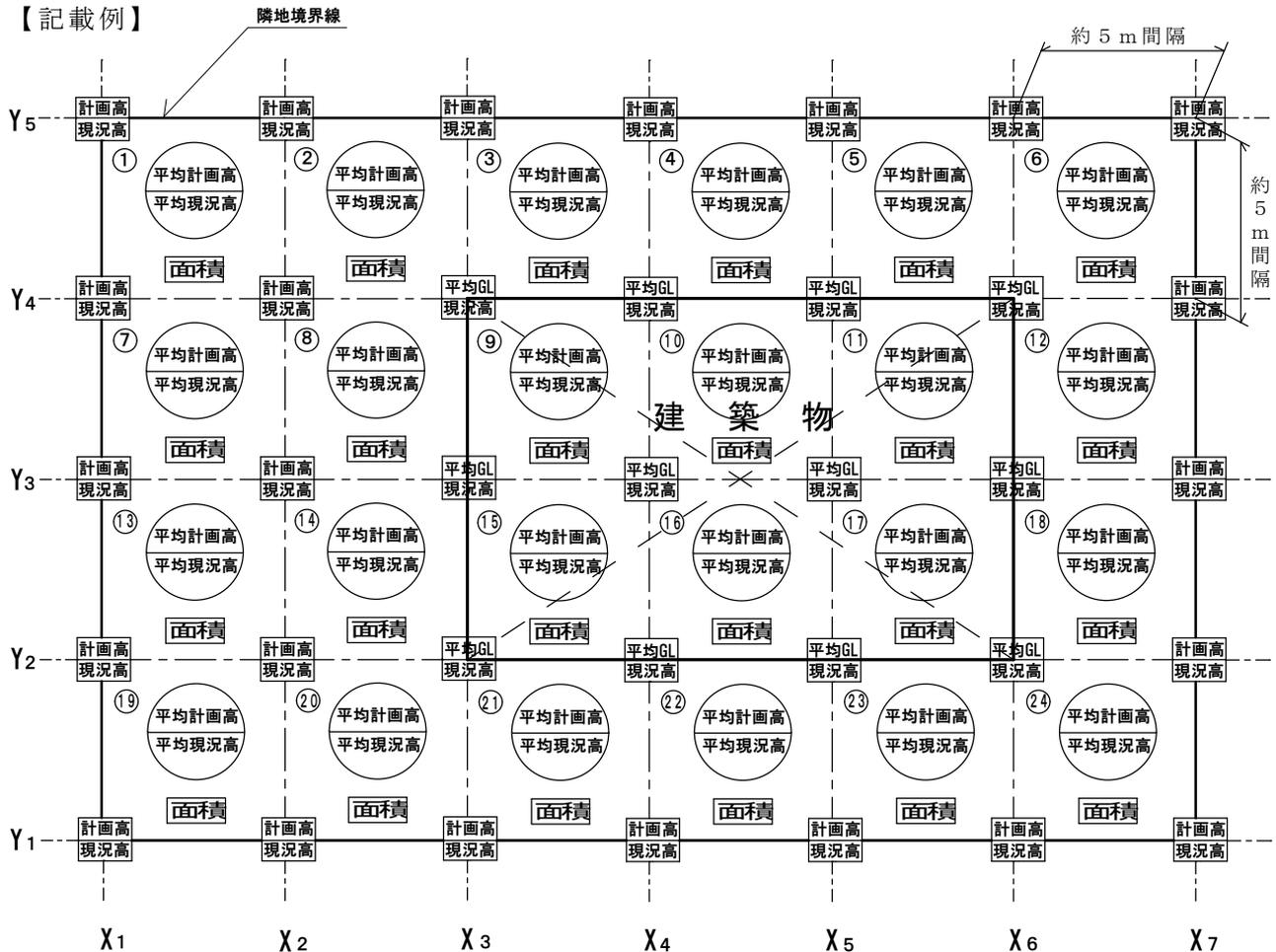
造成面積と平均造成高を示す図書

市街化区域内の、敷地面積が1000㎡以上の土地において行う開発行為で、次のいずれかの条件を満たす場合、「形の変更」に該当するものと取扱います。

条件ア (切土部分の土量 + 盛土部分の土量) / 開発面積 \geq 30cm

条件イ 30cm以上の切土面積 + 30cm以上の盛土面積 \geq 1000㎡

【記載例】



【記入要領】

- 約5m間隔で申請区域を区切り、XYの各交点で造成高、現況高を に記入してください。
- 各グリッドごとに平均造成高と平均現況高を求め、 に記入してください。
- 各グリッドごとに平均造成高から平均現況高を減じた数値に、面積を乗じて得た数値を算出してください。
- 3で得た数値の合計(①～②4)を開発面積で除し、その値が30cm未満であることを示してください。・・・(条件ア)の判定
- 30cm以上の盛土部分の面積と30cm以上の切土部分の面積の合計を計算し、その値が1000㎡未満であることを示してください。・・・(条件イ)の判定
- 盛土部分は青色、30cm以上の盛土部分は濃い青色で着色してください。
また、切土部分は赤色、30cm以上の切土部分は濃い赤色で着色してください。
- 建築物の位置を示してください。建築物の部分の計画高は、建築物の平均GLの値を計画高としてください。建築物の位置をグリッド線の起点にしてください。